

校長通信 やなぎっ子だより

やる気を出す・なかまを大切にする・元気な子 令和3年9. 1発行 文責 杉田美恵



長い夏休みも終わり、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。新型コロナウイルス感染症の拡大が全国で相次ぎ、奈良県でも大半がデルタ株に置き換わり、感染者数が急増しています。天理市でも感染拡大警戒警報が発出され、いつもなら楽しいはずの夏休みに安心して出かけることもできず、子どもたちはどんな夏休みを過ごしたのでしょうか？

全国調査でも『コロナ禍でストレスを抱える子どもが増えている』とされているので少し心配しています。さて、いよいよ今日から2学期が始まります。9月10日まで、天理市立小中学校では、午前の授業と給食のみの短縮授業となり、接触機会が多くなる昼休みや清掃前に帰宅します。このような状況のため、9月10日に予定していた授業参観も中止せざるを得なくなりました。これからの教育活動がどうなっていくのか、先が見通せない状況です。しかしながら学校は、単に学習機会の提供を保障するという役割だけでなく、年相応の全人的な発達や成長を保障する役割、他者と安全安心につながるができる居場所として、心身の健康を保障する役割を持っています。国・県市内の感染状況を注視しながら、なんとか子どもたちにとって実りの秋となりますよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



8月8日（日）柳本校区夏祭り実行委員会の方々のご尽力で花火大会が開催されました。子どもたちは三密を避け、手持ち花火で楽しみました。

修学旅行の下見を実施しました

夏休み中に各施設と打ち合わせを行いました。6年生の子どもたちが最も楽しみにしている修学旅行を何とか実現したいと思っておりますが、全国的に感染状況に好転の兆しが見えず苦悩の毎日です。奈良県・天理市・和歌山県の状況から目が離せません。

（和歌山城）

（稲村の火の館）



修学旅行保護者説明会 （9月10日14:30から meetで行います）

今年の修学旅行は・・・

1日目（9月30日）：和歌山城・稲むらの火の館・白崎海洋公園等

2日目（10月1日）：千畳敷・三段壁・アドベンチャーワールド

安政の大地震による大津波の時、濱口梧陵が命をかけて村民の命を救った「稲むらの火」。その偉業と精神、教訓を学び、受け継いでゆきましょう。みんなで小学校生活一番の思い出づくりができることを願っています。体調管理をよろしくお願い致します。